

芸術祭から世界へ

宮ごころの星!

宇都宮市民芸術祭

開幕公演「鶴の恩返し」

今年で31回目を迎えた宇都宮市民芸術祭。昨年は「子どもたちへ宇都宮市の文化力をつなげよう!」を目標に、世界初となる洋楽・邦楽・ジャズなどのジャンルを融合させたミュージカル「みどりの夢」を上演しました。今年も引き続き子どもに文化をつなげるため、誰もが知っている日本昔ばなし「鶴の恩返し」を日本舞踊や箏などの伝統芸能系部会の皆さんが音楽劇として披露しました。総勢100名の出演者の中には、各種コンクールで日本一になった方や、プロとして活躍している方などが多数おり、本格的な演奏が好評となり、お客様から「涙が止まらなかった」「日本の伝統芸能を誇りに思います」との意見をいただきました。

今、出演者たちは、11月に開催される「うつのみや人間力向上フォーラム」特別公演や、来年3月に予定しているミネアポリス海外公演に向けて意欲を燃やし、稽古に励んでいます。

舞台芸術の都 ミネアポリスへの架け橋

舞台芸術の都ミネアポリス、その夢の舞台への第一歩は「鶴の恩返し」の演出を手掛けた稲見けい子さん(ごどもミュージカルどりーみんぐ代表)が同市ワコニアハイスクールと交流のある石塚武勇さん(栃木県吹奏楽連盟理事長)に話を持ちかけ、石塚さんが稲見さんの「海外の人々に日本の伝統文化を紹介したい」という想いに共感し、コーディネート役を買って出てくれたことから始まりました。

舞台芸術に携わる人と人とのつながり



が日本とアメリカ力を横断する大きな橋を架けたのです。

ミネアポリス市は、アメリカ合衆国ミネソタ州東部に位置し、市民1人あたりの劇場数が全米第2位と屈指の演劇市場を誇り、市民は舞台芸術に対して高い関心を持っています。

邦楽ミュージカル「鶴の恩返し」は、日本伝統文化の総合芸術としてミネアポリスの人々に新鮮な驚きを持って受け入れられ、きつと大きな感動を巻き起こすことでしょう。

宇都宮市民の皆様は、人間力向上フォーラムの特別公演で日本伝統文化の粋を一足早く堪能することができます。当日は、是非、文化会館へお越しください。



宇都宮市民芸術祭開幕公演「鶴の恩返し」の一場面

うつのみや人間力向上フォーラム

(夢をはぐむまち うつのみや)
(子どもと語ろう日々のこと未来のこと)

日時：平成22年11月20日(土)～21日(日)

会場：宇都宮市文化会館

11月20日(土)

- ・幼稚園児による演奏 小ホール 10:30～
- ・小中高校生による討論会 小ホール 11:00～
- ・ドリームコンサート 大ホール 13:30～
- ・プロスポーツ体験教室
- ※入場料：無料

11月21日(日)

- ・特別公演「鶴の恩返し」 大ホール 16:00～
- ※入場料：一般 1,500円 高校生以下無料

教育企画課 028(632)2707

「鶴の恩返し」出演の宮ごころ子どもミュージカルどりーみんぐのみなさん



高瀬くるみさん

お箏の音を聴くと自然と緊張感が出てきました。「鶴の恩返し」は小さい頃から知っている昔話でしたが、今回は日本舞踊や吟詠刺繍舞、民謡民舞、邦楽など、いろいろなジャンルの方々が参加をして、私が小さい頃に読んだお話よりも、もっともつとスケールの大きなお話になったと思います。日本の芸術はとても迫力があるなあと感じました。ぜひこの日本の素敵な作品(文化)を外国人の人達にも見てほしいなあと感じます。



阿部円香さん

「鶴の恩返し」は、日本の昔話なので、今までやってきたジャンルではなくて、初めは「難しいぞう...」と思いました。だけど、たくさん練習して、たくさんの人達と共演して、とても楽しかったので、またいつかやりたいと思いました。



野沢恵理さん

わたしは今回の作品で改めて舞台の素晴らしさを実感することができました。日本が誇る音楽や舞踊などの様々なジャンルが融合し、互いに刺激し合い、感じることにやり、ひとつの作品に向かう姿勢が生まれ、まさに相乗効果のもと最高の舞台ができたと感じています。

子どもたちにとっては現代的なミュージカルとは一転した伝統芸能への挑戦でしたが、どこか日本の心を共感することができ、日本の伝統文化を今後も継続し、大切にしなければならぬと思います。

本日にそれぞれの部会が、最高の演出でつながり、素敵な作品になったと感じています。関係者の方々に、心から感謝しています。

文化課 028(632)2767

日本語を学習する はばたき教室

初期日本語指導教室 開設

宇都宮市教育委員会では、外国から日本にきた子どもたちが簡単な日本語や学校生活のきまりなどを学習するための初期日本語指導教室「はばたき」を4月から開いています。

はばたき教室で2か月間、一生懸命学んだ子どもたちは、現在、各小・中学校でたくさんの方たちをつくり、充実した学校生活を送っています。



夏休みふれあい日本語教室の様子 (指導ボランティア：阿部まつ子さん)

先生の笑顔のわけ

とにかく、子どもたちがかわいいので自然に笑顔になります。私自身も楽しみながらお仕事をさせていただいております。子どもたちに感謝しています。

阿部まつ子さん

学校教育課

028(632)2733